

五戸総合病院での研修を終えて

令和元年 6 月 研修医
青森市民病院 初期研修医 中村遼馬

私は一か月間、地域研修として五戸総合病院の内科での研修をさせていただきました。内容としては、内科外来、病棟管理、腹部エコー、内視鏡検査に携わりました。青森市民病院で当直において救急外来を担当することはあっても、一般的な内科外来を行うことは初めてでした。定期的に受診する方は救急外来を受診する患者とは異なり、特別に大きな訴えというのはいないことが多いのですが、「体調は変わりねえ」とおっしゃる患者さんの中にも困ったことはないですかと尋ねると、「実は……」と切り出すということもありました。1～3 か月に一回の受診ペースの中で、問題点を見つけ出し必要な検査や治療を行うことの難しさを感じました。

内科としての業務以外に学校健診や、訪問診療、地域ケア会議など五戸地域全体で取り組んでいる医療や試みを間近で見ることができました。地域ケア会議では、医師、看護師の他に五戸地域の種々の介護施設職員の方が集まり、地域全体で患者に寄り添い医療、介護を提供することについて具体的な事案を紹介しつつ検討をしていました。住民の経済的な面や、地理的な面、またキーパーソンとなる家族や身寄りの人についてなど、いままで深く考えたことがありませんでしたが、地域で医療を行う上では決して切り離すことができず、このことを常に念頭において診療することが、患者に寄り添うことになるということを実感しました。

また、五戸総合病院は研修医の教育にも大変熱心で挿管や手術見学をしたいという申し出にも外科の安藤先生や小林先生は快く受け入れてくださりありがとうございました。内科志望でありながら手術に入り、挿管や麻酔の全身管理についても経験させてもらうことができました。

最後になりましたが、指導医の佐藤先生を始め先生方には大変貴重な経験や学びを得る機会を作ってくださいました。また、スタッフの皆さんには様々な場面でサポートしていただき、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。